



一般社団法人 神奈川県バスケットボール協会 U12 部会 横浜支部

横浜市ミニバスケットボール連盟

YOKOHAMA

U12 Category BASKETBALL

新型コロナウイルス感染予防 会場注意事項ガイドライン

1. 各チームの大会参加可否

このような状況下のため、大会への参加可否は、各チーム、選手、指導者、役員それぞれの判断を尊重し決して強制や同調圧力等が働くことが無いようにしてください。

2. 大会の中断・中止措置

- ① 選手、保護者、指導者とその同居者に新型コロナウイルス感染症患者が出た場合は、それが判明した時点で大会の継続を検討する
- ② 政府、行政機関等や、JBA等の関連組織から、活動自粛等の要請があった場合は、大会を中断又は中止する

※追記 (令和2年11月19日付け)

一般社団法人神奈川県バスケットボール協会 U12 部会発行の「STEP2,STEP3 以降の活動における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン第2版(2020年10月18日作成)」に従い、下記の状況では大会が中止となる可能性があります。

- ① 感染拡大が懸念される場合
 - ・関係する自治体や主催者が、感染拡大が懸念されると判断した場合は大会を中止します。
- ② 不可抗力によりチームが参加できない場合
 - ・不可抗力とは、県内市町村の自治体や行政により大会参加に関わる部分的な制限がある場合を指します。
 - ・また、所属地区予選などにおいて部分的な制限があり、当該大会への代表選考ができない場合も指します。
- ③ 辞退によりチームが大会に参加できない場合
 - ・チーム事情により大会参加できない場合を指します。
 - ・チーム事情によるものであるため、基本的に大会は実施/継続とします。
 - ・但し、一定数以上の辞退チームがある場合には大会中止を検討します。
 - 目安としては、大会参加チーム数の10%以上の辞退チームがあれば大会中止を検討します。
- ④ 大会中に陽性者発生の場合、保健所の指導により陽性者行動のヒアリングから濃厚接触者の判定及び各種消毒作業により大会運営に大きな支障を来す場合は大会を中止します。

※以上の「大会中止に至る状況」に該当した場合、大会中でも急遽中止せざるを得ない場合があります。

3. 大会の再開

大会の継続を検討した結果中断となった原因が排除され再開が可能と判断した場合

4. 感染者、濃厚接触者（保健所認定者）等に対する偏見や差別について

感染者、濃厚接触者、この感染症の対策や治療にあたる医療従事者、またその家族、チーム関係者、学校等に対する偏見や差別につながるような行為は、断じて許されません。

誰もが感染者、濃厚接触者になりうる状況であることを受け止めてください。

5. 試合への参加 ※以下に該当する場合は会場への入場を認めない

- ① 試合当日は出発前に自宅にて体温の測定ならびに症状の有無を確認し、体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は参加を認めません。
- ② 同居人や身近な人に感染が疑われる方がいる場合は参加を認めません。
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めません。

【留意事項】・各チームは、試合出場の可能性が低い選手（ケガ人、新入部員、低学年等）の試合会場への帯同について考慮し感染拡大防止の観点から十分な配慮をお願いします。

・ミニバスには出場選手数に関する規則があります。そのため登録人数ギリギリの場合等、無理をして参加することが想定されます。この状況下においては、試合の勝敗や活躍よりも、自分自身と関係者の健康を最優先に考えて行動してください。

6. 会場来場者への要求事項 【重要】（クラスターが発生した場合の対応）

- ・体調管理チェックリストを作成し書面の提出を求める（必須）
- ・チーム代表者は参加者全員（選手・保護者・指導者）の情報（下記内容）を取りまとめて提出する
- ・提出された情報は各地区にて管理保管し必要に応じて活用する

- ① 氏名・年齢・住所・連絡先（個人情報の取り扱いに注意）
- ② 当日の体温
- ③ 利用前2週間に於ける以下の事項の有無（スポーツ庁ガイドラインより抜粋）

- ア) 平熱を超える発熱
- イ) 咳、のどの痛みなど風邪の症状
- ウ) だるさ（倦怠感）、息苦しさ
- エ) 嗅覚や味覚の異常
- オ) 身体が重く感じる、疲れやすい等
- カ) 新型コロナウイルス感染予防感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- キ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ク) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、又は当該在住者との濃厚接触がある

7. 会場での感染予防対策

① 三つの密を徹底的に回避する

密閉・密集・密接が発生しないようにすること
人と人との間隔は出来るだけあける（目安2m）

② マスクの着用

会場利用者はマスクの着用を徹底してください。（試合のコートに立つ選手は除く）

③ 換気

会場は最低2方向の窓を開けるなど、十分な換気を行ってください。

④ 手洗い

会場責任者は必ず手洗いをこまめに行えるよう以下に配慮して場所を確保してください。
また会場に入る際は必ず手洗いをを行い、試合終了後に於いても手洗いを励行して下さい。

- ア) 手洗い用の石鹸を用意する → 手洗いは30秒以上を推奨
- イ) 手ぬぐい、タオル等は他の人と共有しない
- ウ) アルコール消毒等を用いて手指消毒を併用する
- エ) 乾燥機等の設備は使用しない

⑤ 洗面所（トイレ）

トイレは感染リスクが比較的高い場所と考えられます。
以下の点に配慮して管理し使用してください。

- ア) ドアノブ、水洗器具のレバー等は次亜塩素酸ナトリウム等を用いてこまめに消毒をする
- イ) トイレの蓋は閉めてから排水する
- ウ) 手洗い場には石鹸を用意する
- エ) 乾燥機等の設備は使用しない

⑥ 更衣室

各会場のルールに従い以下の事に留意する

- ア) 十分な換気を行ったうえで密にならないよう人数を制限する
- イ) 各チーム保護者責任の元交代で利用する

⑦ 消毒

選手、指導者、保護者の手が触れる場所、用具（ベンチ、TO 機器類、得点板、モップ、応援席）等はアルコールや次亜塩素酸ナトリウム等を用いて試合間等に定期的に拭き取りを行ってください。

⑧ チーム・観客の管理

会場への入場者は試合に関する選手、指導者、引率保護者の最小人数に制限します。

ア) 会場入場者は、選手:15名以内、指導者:4名以内、引率保護者:4名以内にする

イ) ベンチエリアは、これまで通り19脚を準備する

ただし、ベンチエリアの奥行に余裕がある場合は、席を互い違いに2列に配置する
(余裕がない場合は会場の条件に合わせて工夫して下さい)

後列: □席□席□席□席□席□席□席□席□席□ (□:空きスペース)

前列: 席□席□席□席□席□席□席□席□席

- ウ) 応援席は、ソーシャルディスタンスを保ったうえ 4 脚準備する
席口席口席口席
- エ) 選手、保護者、指導者による大声での発声及び応援は禁止する。
また個人での拍手は問題ないが、ペットボトルやうちわ等を叩いての応援は禁止する
- オ) 試合中にやむを得ず声が出てしまう場合が考えられるため、ベンチ、応援席の選手、
保護者、指導者は、常にマスク等の着用を義務づける
- カ) 荷物置場、待機場所は会場のスペースを考慮したうえで出来るだけソーシャルディスタンスを
確保する

⑨ チーム・選手について

飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行ってください。

- 例) 「手が届く範囲以上の距離を保つ」、「握手、ハイタッチ等の接触は避ける」、
「声を出す機会（指示、応援、声援）を最小限にする」
「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場面はマスクを着用する」

- ア) 選手、保護者の試合会場への来場は自チームの試合、T Oの時間に合わせて来場する
- イ) 選手、保護者は自チームの試合、T O等の対応終了後すみやかに帰宅する
- ウ) ハーフタイムのアップは禁止

⑩ ゴミの廃棄

- ア) 会場でのごみは必ず各自でお持ち帰りください。
特に唾液、鼻水などが付着したものは手袋等を着用してビニール袋に入れ密封して
処理してください。
- イ) 飲み残しのドリンク、氷などを洗面所、トイレ、排水溝などに流さないこと
- ウ) 役員、指導者は飲料水等を各自で用意し必ず持ち帰ること

⑪ その他

- ア) 各会場に於いて上記以外の規定がある場合はその規程に則り遵守すること
- イ) スポーツセンター等の公共施設を使用する場合もその施設の規定に従うこと

2020（令和2）年9月発行

追記 令和2年11月19日